

## 専門医申請のための研修単位について

### ◆専門医初回申請（2018年以降の研修開始登録者）

※2017年までに研修開始登録をした方は学会専門医制度により認定されますので、  
専門医申請のための単位数についてはお手元の研修記録簿を確認してください。

研修開始登録年の4月1日から研修修了年の3月31日までに必要な単位等は次の通り（2025年申請時まで）

ii) 共通講習（最小3単位 最大10単位：うち必修講習3単位）

iii) 泌尿器科領域講習（最小15単位）

iv) 学術業績・診療以外の活動実績（最小3単位 最大15単位）

\* ii～ivの合計で40単位取得すること

\* 日本泌尿器科学会総会または東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること

\* ii、iiiの合計単位数の40%以上を日本泌尿器科学会の卒後教育プログラムの受講  
（講演・ビデオ講習・e-ラーニング）により取得すること

\* ivの取得単位のうち、参加単位によるものは6単位を上限とする

\* 卒後教育プログラムは7つのカテゴリーそれぞれについて1単位以上取得すること

\* 最新情報は学会ウェブサイトをご確認ください（<https://www.urol.or.jp/>）

\* 2026年度以降の専門医認定申請（受験申請）条件は異なります。（詳細は学会ウェブサイトにてご確認ください。）

### 【卒後教育プログラムのカテゴリーについて】

カテゴリー	専門領域		
①	小児泌尿器科	腎不全・腎移植	
②	泌尿器科腫瘍		
③	尿路結石	エンドウロロジー・腹腔鏡	
④	尿路性器感染症	外傷・救急医療・再建	
⑤	内分泌・生殖機能・性機能	副腎・後腹膜	
⑥	女性泌尿器科	老年泌尿器科・前立腺肥大症	排尿機能・神経泌尿器科
⑦	医療制度・保険等	基礎研究	オフィスウロロジー

### ◆専門医更新申請

申請する年の3月31日までの5年間に必要な単位等は次の通り

i) 診療実績の証明 10単位（4回目の更新時より免除可：別途診療従事証明書提出）

ii) 共通講習（最小3単位 最大10単位：うち必須講習3単位）

iii) 泌尿器科領域講習（最小15単位）

iv) 学術業績・診療以外の活動実績（最小3単位 最大15単位）

\* i～ivの合計で50単位（iが免除となる場合はii～ivの合計で40単位）取得すること

\* 日本泌尿器科学会総会または東部・中部・西日本総会のいずれかに1回以上参加していること

\* ii、iiiの合計単位数の40%以上を日本泌尿器科学会の卒後教育プログラムの受講  
（講演・ビデオ講習・e-ラーニング）により取得すること

\* ivの取得単位のうち、参加単位によるものは6単位を上限とする

\* 最新情報は学会ウェブサイトをご確認ください（<https://www.urol.or.jp/>）

## 専門医申請用 泌尿器科専門医教育研修単位一覧

### iii) 泌尿器科領域講習に算定できる単位（原則として1時間1単位）

日本泌尿器科学会卒後教育プログラム		1単位
日本泌尿器科学会総会で指定するセッション		1単位
日本泌尿器科学会東部・中部・西日本各総会で指定するセッション		1単位
JUA WEBINAR	1本につき	1単位
JUA academy内e-ラーニング	1コースにつき	1単位
その他日本泌尿器科学会が指定する講習	1時間につき	1単位
上記講習会講師 (複数の講師、演者で講演の場合は別途定めます)	1時間1名	2単位
※具体的なセッション、単位については学会ウェブサイト等にて確認してください。		

### iv) 学術業績・診療以外の活動実績に算定できる単位

○教育的企画・学術集会等への参加			
日本泌尿器科学会総会			3単位
日本泌尿器科学会東部・中部・西日本各総会			3単位
日本泌尿器科学会の地方会（別記(1)）			2単位
日本医学会総会			3単位
国内におけるその他の集会（別記(2)）			1単位
国際学会（別記(3)）			2単位
○業績発表			
【学術発表】 下記における泌尿器科に関する発表	筆頭のみ		1単位
日本泌尿器科学会（地区総会・地方会を含む） 国内におけるその他の集会（別記(2)） 国際学会（別記(3)）			
【司会・座長】 下記における泌尿器科に関する発表の司会・座長			1単位
日本泌尿器科学会（地区総会・地方会を含む） 国内におけるその他の集会（別記(2)） 国際学会（別記(3)）			
【学術誌・著書等における発表】			
日本泌尿器科学会雑誌掲載論文	筆頭	2単位	連名 1単位
International Journal of Urology 掲載論文	筆頭	2単位	連名 1単位
IJU Case Reports掲載論文	筆頭	2単位	連名 1単位
その他の学術雑誌等における泌尿器科関連論文	筆頭	2単位	連名 1単位
○その他			
International Journal of Urology の査読	1編につき		1単位
IJU Case Reportsの査読	1編につき		1単位
日本泌尿器科学会雑誌の査読	1編につき		1単位
専門医試験問題作成や試験委員・監督など 試験に関する業務（詳細は別途定めます）	1業務につき		1単位

## 別記(1) 日本泌尿器科学会の地方会

北海道地方会	東北地方会	茨城地方会	栃木地方会	群馬地方会	埼玉地方会
東京地方会	千葉地方会	神奈川地方会	山梨地方会	信州地方会	新潟地方会
北陸地方会	東海地方会	関西地方会	山陰地方会	岡山地方会	広島地方会
山口地方会	四国地方会	福岡地方会	佐賀地方会	長崎地方会	熊本地方会
大分地方会	宮崎地方会	鹿児島地方会	沖縄地方会		

## 別記(2) 国内におけるその他の集会（地方会を含む）

日本アンドロロジー学会	日本移植学会	日本外傷学会
日本核医学会	日本化学療法学会	日本画像医学会
日本間質性膀胱炎研究会	日本感染症学会	日本癌学会
日本がん検診・診断学会	日本癌治療学会	
日本先天性腎尿路異常・逆流性腎症フォーラム(旧:日本逆流性腎症フォーラム)		日本外科系連合学会
日本骨代謝学会	日本骨盤臓器脱手術学会	日本思春期学会
日本受精着床学会	日本小児外科学会	日本小児腎臓病学会
日本小児腎不全学会	日本小児泌尿器科学会	日本女性骨盤底医学会
日本自律神経学会	日本心身医学会	日本人工臓器学会
日本腎臓学会	日本腎泌尿器疾患予防医学研究会	日本ステロイドホルモン学会
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	日本性科学会	日本性感染症学会
日本性機能学会	日本生殖医学会	日本生殖免疫学会
日本生体医工(ME)学会	日本脊髄障害医学会	日本先天(性)異常学会
日本超音波医学会	日本透析医学会	日本内視鏡外科学会学術集会
日本内視鏡外科学会教育セミナー内視鏡下縫合・結紮手技講習会		日本内分泌学会
日本内分泌外科学会	日本二分脊椎研究会	日本尿路結石症学会
日本農村医学会	日本バイオセラピー学会	日本ハイパーサーミア学会
日本排尿機能学会	日本泌尿器腫瘍学会	日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会教育プログラム		日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会腹腔鏡トレーニングコース
日本泌尿器病理研究会	日本平滑筋学会	日本ミニマ創泌尿器内視鏡外科学会
日本脈管学会	日本Men's Health医学会	
日本夜尿症・尿失禁学会(旧:日本夜尿症学会)		日本臨床細胞学会
日本臨床腎移植学会	日本臨床泌尿器科医会・総会・臨床検討会	日本臨床免疫学会
日本レーザー医学会	日本老年医学会	日本老年泌尿器科学会
日本GI(性別不合)学会	J-Cap研究会報告会(学術セミナー)	腎移植・血管外科研究会
腎癌研究会	前立腺シンポジウム	全国済生会泌尿器科医会
前立腺密封小線源永久挿入治療研究会(前立腺シード研究会)		尿路悪性腫瘍研究会
尿路感染症研究会	排尿管理研究会	泌尿器科漢方研究会
泌尿器科京都東山サマーセミナー	泌尿器科再建再生研究会	泌尿器科分子・細胞研究会
泌尿器細胞診カンファランス(別府カンファランス)	泌尿器腹腔鏡ビデオ講習会	泌尿器腹腔鏡下縫合・結紮手技講習会

帯広・十勝地区腎泌尿器科臨床検討会	釧根地区泌尿器科研究会	札幌市泌尿器科医会
札幌排尿障害研究会	北海道臨床泌尿器科医会	東北腎不全研究会
東北泌尿器科談話会	青森県泌尿器科研究会	青森前立腺癌研究会
岩手泌尿器科懇話会	岩手腎不全研究会	秋田県泌尿器科集談会
秋田腎不全研究会	山形泌尿器科研究会	山形腎不全研究会
宮城県腎不全研究会	宮城県泌尿器科医会	仙台北部泌尿器科医会
福島県泌尿器手術手技研究会	福島県北腎泌尿器疾患研究会	福島泌尿器科研究会

福島腎不全研究会	関東アンட்・ロヅ-カンファレンス	茨城腎研究会
茨城泌尿器疾患ケア研究会	水戸排尿障害研究会	埼玉県泌尿器科医会
埼玉県西部地区泌尿器科研究会	埼玉泌尿器悪性腫瘍講演会	埼玉前立腺ワークショップ
埼玉排尿障害セミナー	埼玉老年・泌尿器科研究会	ちば新世紀泌尿器科研究会 (2028年申請時まで)
千葉泌尿器疾患カンファレンス	千葉泌尿器科集談会 (2026年申請時まで)	
千葉県東葛地区前立腺研究会 (2026年申請時まで)	千葉県泌尿器疾患学術セミナー (千葉泌尿器疾患カンファレンス・みのはな泌尿器科検討会)	
城南地区泌尿器疾患懇話会	Jonan Urological Innovative Conference (JUICE)	
東京泌尿器科医会	多摩女性骨盤底勉強会 (女性骨盤底勉強会)	多摩泌尿器科医会
横浜市泌尿器科医会・横浜泌尿器科セミナー	神奈川移植医学会	神奈川県東部泌尿器科研究会
神奈川県泌尿器科医会	神奈川泌尿器ビデオフォーラム	群馬臨床泌尿器科医会
群馬県透析懇話会	山梨透析研究会	Shinshu LUTS Meeting (信州排尿障害研究会)
信州排尿QOL研究会 (2027年申請時まで)	信州泌尿器スルアップセミナー (信州泌尿器手術ビデオプレゼンテーション) (2026年申請時まで)	
中越泌尿器科 (研究会) 疾患懇話会	新潟泌尿器科臨床医検討会	新潟泌尿器科腫瘍研究会
新潟泌尿器腫瘍セミナー	新潟排尿障害セミナー	北信泌尿器科医会
北陸腎疾患・血液浄化療法研究会	北陸前立腺癌研究会	北陸腎泌尿器癌研究会
北陸排尿障害研究会 (2027年申請時まで)	北陸泌尿器科Research Meeting (ペーシック・リサーチ・ミーティング)	
富山県泌尿器科医会	福井泌尿器科フォーラム	東海排尿障害研究会
東海泌尿器病理勉強会	東海・北陸腎不全治療研究会	東海小児尿路疾患研究会
静岡県泌尿器科医会	岐阜泌尿器科医会	愛知県泌尿器科医会
東三河泌尿器科医会	三重泌尿器科医会	NGB研究会
関西アンட்・ロヅ-カンファレンス	阪神泌尿器科医会	阪神前立腺疾患セミナー
泌尿器科手術研究会	泌尿器腫瘍フォーラム	滋賀県泌尿器科医会
滋賀 (県) 泌尿器科集談会	滋賀県泌尿器疾患 (前立腺) 懇話会 (2027年申請時まで)	
京都泌尿器科医会	大阪泌尿器科臨床医会	南大阪泌尿器科研究 (2027年申請時まで)
大阪STI研究会 (2026年申請時まで)	大阪透析研究会	高槻市医師会泌尿器科専門部会
兵庫県泌尿器科医会	奈良県医師会泌尿器科部会	奈良県医師会透析部会
奈良腎腫瘍研究会 (2028年申請時まで)	奈良前立腺研究会	奈良尿路上皮癌研究会
奈良排尿障害研究会	奈良泌尿器疾患カンファレンス	
Current Topics in Urology (2026年申請時まで)		泌尿器科紀の国フォーラム
中国四国臨床臓器移植研究会	山陰透析懇話会	山陰泌尿器内視鏡研究会
倉敷泌尿器科カンファレンス (2026年申請時まで)	広島泌尿器内視鏡 (EE) 研究会	広島泌尿器科医会
安佐医師会泌尿器科医会	山吹ウロ・オンコロジーフォーラム	山口県腎臓病研究会
山口泌尿器内視鏡研究会	徳島県泌尿器科疾患研究会	香川県泌尿器科医会
愛媛県泌尿器科医会	高知県泌尿器科会	高知県泌尿器手術手技研究会
高知泌尿器科セミナー	九州基本臨床泌尿器科 (九州FCU) セミナー	九州小児泌尿器研究会
九州泌尿器科連合地方会	九州人工透析研究会	九州腎臓移植研究会
北九州市泌尿器科医会	北九州泌尿器病理研究会 (2029年申請時まで)	福岡県泌尿器科医会
福岡佐賀尿路結石研究会	福岡市泌尿器科医会	福岡排尿障害研究会
福岡泌尿器診療セミナー	福岡泌尿器科臨床研究会	
福岡佐賀泌尿器科手術手技研究会 (2029年申請時まで)		佐賀県泌尿器科懇話会
筑後泌尿器科医会	熊本泌尿器科医会	大分県臨床泌尿器科医会
宮崎県泌尿器科医会	沖縄県泌尿器科EBM研究会 (2029年申請時まで)	

【2022年4月以降開催のもの】	GSM研究会
【2023年4月以降開催のもの】	岡山泌尿器科カンファレンス TAMAGAWAウロロジーカンファレンス

### 別記(3) 国際学会

国際泌尿器科学会 (S I U)	アジア泌尿器科学会
International Section of Taiwan Urological Association (台湾泌尿器科医国際交流会)	
European Association of Urology	American Urological Association
World Congress of Endourology and SWL	
日韓小児泌尿器科学会 (Japanese and Korea Society of Pediatric Urology)	
アジア太平洋小児泌尿器科学会 (Asia-Pacific Association of Pediatric Urologists)	
国際禁制学会 (The International Continence Society)	
International Federation of Fertility Societies	Advancements in Urology

## 指導医申請のための業績発表等について

#### ◆指導医申請・更新申請

申請する年の3月31日までの5年間に必要な業績発表・研修等は次の通り

- \* 学術集会、学術誌・著書、査読等における業績発表5編以上。初回申請時にはそのうち筆頭による発表が1編以上、更新時には筆頭、連名を問わない。業績発表は原則として専門医申請用研修単位として認められるものに準じる。また、査読や教育コース（卒後教育プログラム、指導医教育コース）の担当講師についても業績となる。
- \* 指導医教育コースを1コース以上受講していること。

※指導医の認定（初回・更新）には、申請する年の3月31日までの5年間のうち3年間以上、教育施設に所属していなくてはなりません。